

「外国人早期適応研修カリキュラム」研修案

企業名 (担当者名)	愛知商工連盟協同組合
テーマ (選んだ理由)	第5章 「生活する／楽しむ」

目安時間	項目	内容
	◆事前準備物	<p>実習生：サポートガイドブック、宿題（自分が今住んでいる町のことを調べてくる（その前の授業の時に説明する。 1. 人口 2. 広さ 3. 気温 4. 行事 5 特産品） 指導者：サポートガイドブック、指導者マニュアル、実習生の実習先のリサーチ、自治体のホームページの確認、日本地図、カレンダー、PP資料（イベントの写真、各お店の写真）</p>
	◆到達目標	<p>1. 日本で住む予定の地域のことについて知る。 2. 日本の祝日、イベントを知る。 3. 店の種類や買い物の仕方を知る。 (全体を通して、より日本に行くことを楽しみとしてもらいたい。)</p>
10分	◆事前課題の確認	<p>・2人指名し、宿題にしてあった、自分が住んでいる町のことについて発表してもらう。 ・どうやって調べたか問いかける。 ・今日発表しなかった人も、日本に来た時に話せるように、大事にとっておいて欲しいことを伝える。</p>
5分 (15分)	◆ウォーミングアップ	<p>日本に来たら、行きたいところはあるか聞いてみる。 その次に、自分が実習に行く町のことを調べたことがあるか聞いてみる。</p>
10分 (25分)	◆活動内容	<p>1. 日本で住む予定の地域のことを知る。 ・実習生に、日本のどこに住む予定なのか問いかける。 ・その場所について、どれだけ知っているか問いかける。 ・もし知っているようであれば、どのようにして調べたか、何を知っているか問いかける。 ・例として愛知県名古屋を取り上げてみる。 名古屋市のホームページを共有。上部に言葉の選択ができる。 残念ながらミャンマー語はない。しかし、やさしい日本語（わかりやすくしたものであることを説明）、ふりがなをつけることが出来ることを紹介する。 ・名古屋市以外の実習生の自治体のHPも一緒に見てみる。 (事前に実習生の配属先を確認しておく。)</p> <p>➡ 日本に来る前に是非自分の住む予定の町のことを知っておくことを勧める。</p>
15分 (40分)		<p>2. 日本の祝日、イベント（行事）を知る。 ①祝日はなにか問いかける。 ➡ (例) 国が決めたお休みの日。 ・ミャンマーの祝日について尋ねる。 ・日本の祝日にはどんなものがあるか知っているか問いかける。 ・カレンダーと、テキストを一致させながら紹介する。</p>

コメントの追加 [0岩成1]: 事前準備がしっかりしていると、その章の研修の流れが非常にスムーズです。準備万端ですね！

コメントの追加 [0岩成2]: こういう発想が大変素晴らしいと思います。愛商連の皆さまの心意気が現れていますね。

コメントの追加 [0岩成3]: 来日が待ち遠しくなるような、とても良い問いかけです。

コメントの追加 [0岩成4]: 45分で盛り沢山の内容ですので、テンポよく行きましょう！

コメントの追加 [0岩成5]: このようなきめ細かな対応も、愛商連さんらしく、素晴らしいです！

15分 (55分)		<p>(介護の仕事には残念ながら祝日でも仕事は休みにならないことが多いことを合わせて説明する。)</p> <p>②イベントについて、ミャンマーのイベントを尋ねる。 ・介護の実習生のため、職場で取り上げそうなイベントをピックアップし、画像つきで紹介する。 (ひなまつり、花見、夏祭り、運動会、餅つき)</p> <p>3. 店の種類や買い物をする。 ・クイズ形式で行う。 店の画像を見せて、何の店か日本語で答えてもらう。</p> <p>1. スーパー 2. ドラッグストア 3. コンビニ 4. 本屋 5. 電気屋 6. 病院 (皮膚科、眼科、内科、歯科)</p> <p>テキストの5-3の【買い物をする時の注意点】を一緒に確認。間違いのあるイラストを見せて読み上げてもらう。注意に合う絵を提示しながら説明。</p> <p>4. 振り返り ①自分の住む町のことを知りました。 問い、何を見るときいいと言いましたか？3年は住む町です。たくさん知って、是非好きになってください。 ②日本の祝日には何があったか思い出してもらおう。 ヒントを出しながら覚えたイベントがあったら答えてもらおう。 ③どんなお店が出てきたか復習。 買い物をする時の注意点を言ってもらおう。</p>
5分 (60分)		
<p><工夫したこと></p> <ul style="list-style-type: none"> ・入国前、配属先が様々であることを考慮し、特定の場所の紹介というより、自分の行く土地についての調べ方を紹介することにした。 ・なるべくイメージがしやすいように、画像を多く使用。 ・5章は日本に来るのが楽しみとなるようにしたいので、全体的に明るく楽しくを心掛ける。 		
<p><成果と課題></p> <ul style="list-style-type: none"> ・画像やイラストを多く使用する為、著作権や、プライバシー保護について注意する必要がある。 ・人数が多いため、全員が理解しているか確認しにくい。 ・どうしても一方的になる傾向があると思うので、いかに飽きさせないかがポイントとなる。 		

コメントの追加 [0岩成6]: ただ「楽しい」というだけでなく、職場で体験しそうな行事を取り上げ、画像で見せるのも、大変よく工夫されていますね。

コメントの追加 [0岩成7]: 「なぜいけないか?」、してはいけない理由を考えてもらうと、より理解が深まります。

コメントの追加 [0岩成8]: とても良い着眼点です!

コメントの追加 [0岩成9]: 私もいつも5章はそのように進めようと思っています。

コメントの追加 [0岩成10]: 一人で話す長さに気を付け、なるべく多く実習生の方々とやり取りしながら進めていけば大丈夫ですよ!